

# 銀杏坂

～ 輝く薩摩中央 ～

令和2年8月28日（金） 南日本新聞

さつま町の小学生の交流活動「さつまっ子チャレンジ教室」に本校の卒業生や在校生が参加したことが、南日本新聞に掲載されましたので紹介します。



仕事内容について説明を受ける児童  
＝さつま町求名

## 夢の実現へ 先輩と交流

さつま町の小学生

さつま町の小学生が町出身の社会人や高校生と交流する「さつまっ子チャレンジ教室」が20日、同町求名の薩摩農村環境改善センターであった。夢実現の参考になればと町教育委員会が始めて5年目。4～6年生30人が、先輩から仕事や高校生活について学んだ。

講師の社会人は消防本部職員や製造業の技術者ら4人。仕事内容や進路を決めたきつかけを紹介した。同町求名の特別養護老人ホームさつま園の平木場万綾さん(19)は介護現場のやりがいについて説明、「好きな仕事だと頑張れる。夢を諦めないで」とエールを送った。

薩摩中央高校農業工学科の3人は同校で加工した金属を使ったキーホルダーづくりを指導。柏原小6年の富満馨君は「自分がやりたいうことをやっている先輩はすごいと感じた。将来についてきちんと考えていきたい」と話した。(右田雄二)